

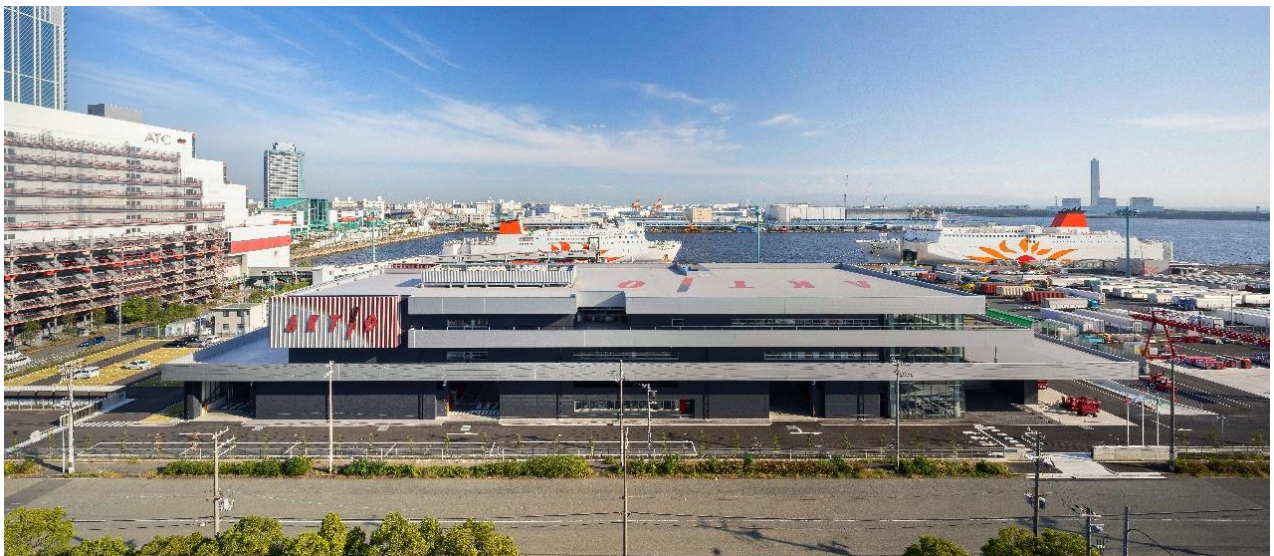
報道関係各位

2022年10月7日

# 西日本エリアの物流拠点 「アクティオ大阪 DL センター」 2022年度グッドデザイン賞受賞

株式会社アクティオ

総合建設機械レンタルの株式会社アクティオ(本社:東京都中央区日本橋、代表取締役会長兼 CEO:小沼光雄、以下「アクティオ」)のアクティオ大阪 DL(Delivery&Laboratory)センターが、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「2022年度グッドデザイン賞」を受賞しました。



外観は、大らかなスケール感を持つ、大阪南港の風景と呼应するよう建物を伸びやかな水平デザインとし、物流らしいスピード感を表現

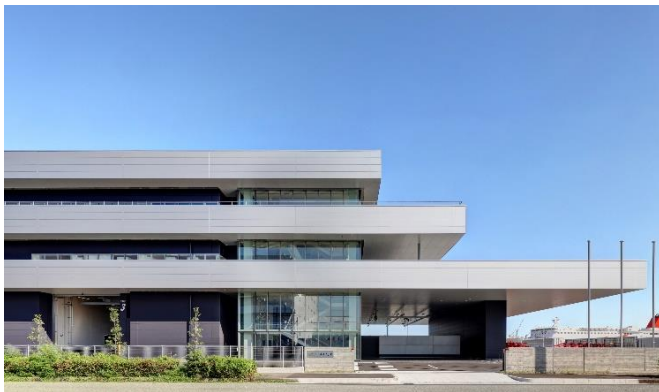
大阪 DL センターは、関西を中心とした西日本エリアの物流拠点として、2021年9月に大阪市住之江区南港北に開設しました。

自動フォークリフトや自動ラック倉庫など、最新の設備を備え、ICT・IoT 技術を駆使した建設 DX の具現化、及び大阪・関西万博開催に向けた物流の効率化を目的とし、関西地方におけるアクティオのレンタルティンクの中核を担っています。また、重機自動洗車機を設置し、使用する水は、雨水循環方式を採用するなど、環境保全にも配慮が施された最新鋭の物流・営業・研究開発拠点です。

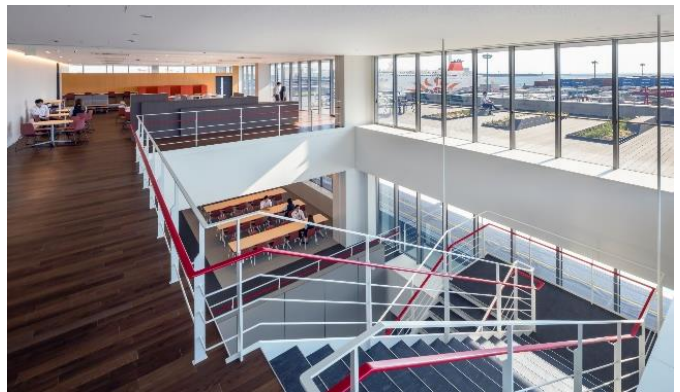
350m×50m の長細い敷地を活かした、一筆書きのシンプルで安全な車両動線を実現し、一般的な倉庫の構造とは違った入出庫のスピードに特化した構造になっています。そのため、内部にトラックを引き込み入庫・出庫スペースを分散させることで、一筆書動線によるスピーディな資材供給が可能になりました(配置計画、建築計画参照)。また、関西郊外の整備工場で管理されていた建設機材を大阪の中心部に集約し、建設機材供給基地とすることで、関西圏のスピーディな機械供給を行っていくとともに、お客様の様々な需要にタイムリーに対応していける拠点を目指しています。

#### 【グッドデザイン賞審査委員による評価コメント】

物流センターのイメージを刷新する、開放的で伸びやかな施設だ。物流を効率化することを突き詰めた結果、屋外に並ぶトラックバースがなくなり、裏がない、従来の物流施設と全く異なる表情の建物となっている。大きな庇の下に取られた開口部により、光と港湾の風景を建物内に取り込み、働く環境の質を高めている。業務の効率化を建築全体のデザインにまで昇華させている点は、特筆に値する。



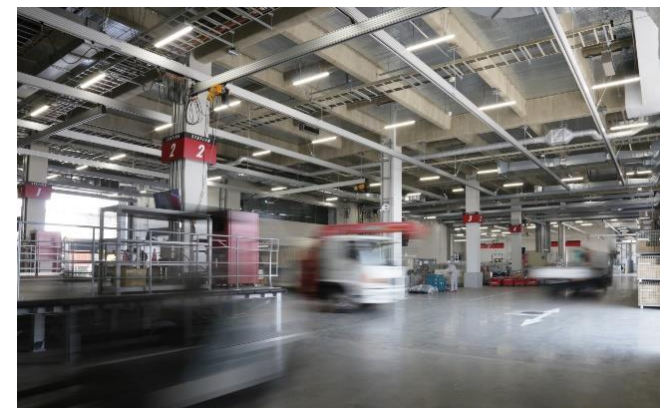
各階に連続するバルコニーを設け、熱負荷低減などに配慮している



周囲への眺望に配慮しながら、従業員の憩いの場となるテラスを設置



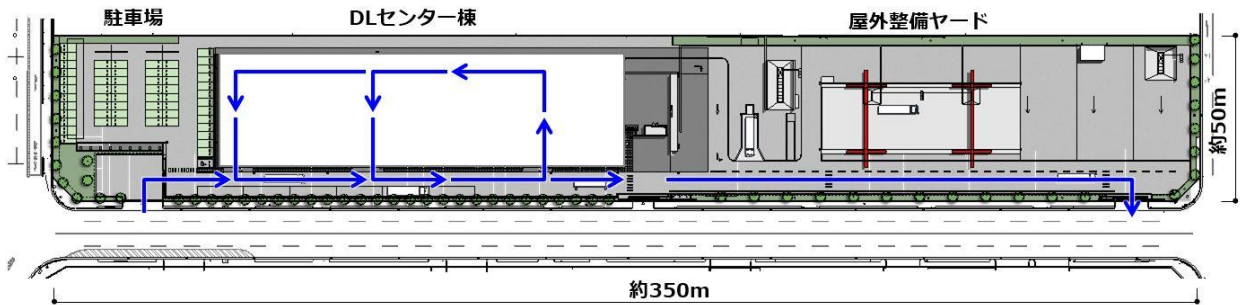
大庇下の室内系高所作業車、充電ステーションエリア



スムーズな車両動線を確保した、機械の入出庫スペース

## ■配置計画

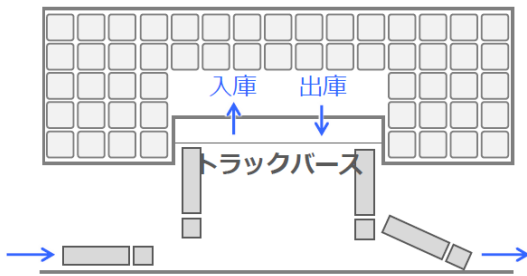
- ・建物のコンパクト化と屋外ヤードを集約した合理的配置
- ・長細いリニアな敷地を活かした、一筆書きのシンプルで安全な車両動線



## ■建築計画: 入出庫のスピードに特化した平面・断面計画

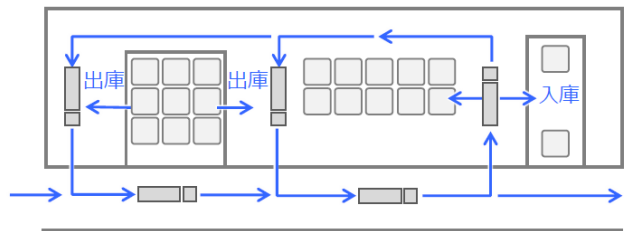
### 一般的な倉庫

- 半屋外にトラックバスと入出庫スペースを集約
- トラック待機スペースの確保が必要
- トラックの駐車時間のロス



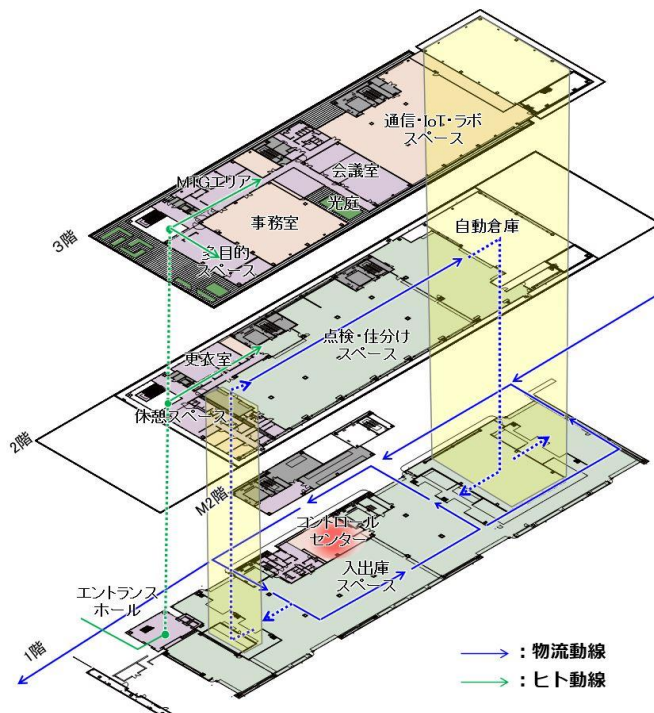
### アクティオ大阪 DL センター

- 内部にトラックを引き込み入庫・出庫スペースを分散
- トラックの一筆書き動線でスピーディな資材供給が可能
- 外観にバックヤードを見せない4面ファサード



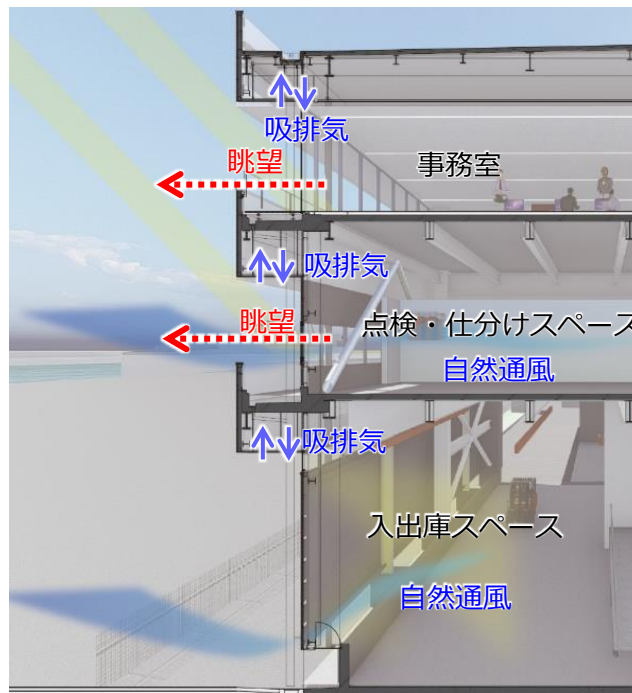
## ■平面計画

- ・1~2階に物流エリアを配置し、最上階にオフィスエリアを配置
- ・オフィスエリア周囲にはバルコニー、テラスを配置し従業員の憩いの場を創出



## ■環境計画

- ・各階にバルコニーを設け、熱負荷低減と塩害へのメンテナンスに配慮
- ・1階作業スペースは、電気に頼らない換気扉や高窓により自然エネルギーを最大限に活用



## ■アクティオ大阪 DL センター概要

住 所 : 大阪府大阪市住之江区南港北 2-2-102

構造・規模: 杭基礎・鉄骨造・地上 3 階

建築面積 : 5,253.20 m<sup>2</sup>(1,589.09 坪)

延床面積 : 11,378.98 m<sup>2</sup>(3,442.14 坪)

構 造 : 鉄骨造

## ■グッドデザイン賞とは



1957 年創設のグッドデザイン商品選定制度を継承する、日本を代表するデザインの評価とプロモーションの活動です。国内外の多くの企業や団体が参加する世界的なデザイン賞として、暮らしの質の向上を図るとともに、社会の課題やテーマの解決にデザインを活かすことを目的に、毎年実施されています。受賞のシンボルである「G マーク」は優れたデザインの象徴として広く親しまれています。<http://www.g-mark.org/>

## ■アクティオが展開する“レンサルティング”とは



アクティオのコンセプトである「レンサルティング」は「レンタル」と「コンサルティング」を合わせた造語で、商標登録しています。会長の小沼光雄は著書の中で次のように紹介します。『従来、建機の世界では「つくる」「売る」という要素が主だったところに、「知恵やノウハウをプラスして貸す」という新たな価値提案をビジネスとして行ったわけです』（算数とハートの経営 2014年 幻冬舎）。現在の建設機械は、非常に高度化しており、せつかくの機能も、現場で最大限に活用することは難しくなっています。目的を果たすため、状況に応じてどの機能をどのように使うのか。アクティオは単に機械を貸すだけでなく、専門的なノウハウを持ってサポートします。

建設機械を熟知する専門レンタル会社だからこそ可能な、しかしレンタルの枠組みを飛び出した提案型のサービスがレンサルティング。時代とともに、その意義を拡大し、進化を続けています。

【アクティオ公式サイト】<https://www.aktio.co.jp/>

【アクティオ Facebook ページ】<https://www.facebook.com/aktio.jp/>

## ■本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社アクティオ 広報部 担当:成澤、五十嵐

TEL:03-6262-7867 FAX:03-6262-7982 e-mail:koho@aktio.co.jp